



主題名 対立から学ぶ（対立の解決の仕方を考える）

教材名 ウィン・ウィン ―対立から学ぶ①―
 （参考資料/ウィリアム・クライドラー著「対立から学ぼう」ERIC国際理解教育センター編）

人権学習の視点 普遍的な視点「コミュニケーション能力」

主題・教材について ※同学年で、①②を続けて学習してもよい。

対立は生きていく上で必ず誰もが経験する正常で自然なものである。対立の解決には様々な選択肢があることを生徒に気付かせたい。ウィン・ウィン型解決法というのは、なるべく両者が望み必要としていることを得られ、満足できるように解決していく方法である。生徒が自分の思いを伝え合い、相手の思いを理解し合い、対立を解決していくための建設的な技能を身に付けさせたい。

ねらい ウィン・ウィン型解決法について理解し、身の回りで起こる対立場面を建設的に解決するための技能を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○ウィン・ウィン型解決法について理解させる。	一斉	○ウィン・ウィン型解決法について理解する。	○対立、要望、解決方法（ウィン・ウィン、ウィン・ルーズ他）の意味を簡単な例をあげて理解しやすくする。	資料集「ウィン・ウィン」
展開	AさんBさん二人の主張していることをもとにウィン・ウィン型、ウィン・ルーズ型など4つの解決方法を考えてみよう。				
	○AさんとBさんの主張から、四分表を使って解決方法を考えさせる。 ○どのタイプの解決方法を見つけるのが難しかったか考えさせる。	一斉 個別	○ウィン・ウィン型、ウィン・ルーズ型、ルーズ・ウィン型、ルーズ・ルーズ型の解決方法を考え、発表する。 ○主張していること（要望）だけでは、ウィン・ウィン型の解決方法が難しいことに気付く。	○対立の場面状況を明確に把握させる。ここに時間をかけ過ぎず後半に時間をかけられるようにする。	
	お互いの本心は何か、考えよう。				
開	○AさんとBさんの本心を考えさせ、意見を交流させる。	個別 グループ	○AさんとBさんそれぞれの本心についてワークシートに書き、意見を交流する。	○主張していること（言っていること、要望）、本心（主張している理由、本当に満たされたいこと）を理解させてから、考えさせる。	ワークシート 項目①
	対立を解決する方法を考えよう。				
まとめ	○AさんとBさんの本心をつかんだ上で、どちらにとっても納得のいくウィン・ウィン型で解決する方法を考えさせる。	個別 グループ 一斉	○解決方法をたくさん考え、ワークシートに書き意見を交流する。 ○グループで出した意見を発表する。	○AさんとBさんになったつもりでじっくり考えさせる。 ○黒板にAさんBさんの吹き出しを書き、出された意見を板書する。	項目②
	対立を解決する方法を考えよう。				
まとめ	○これまでの経験の中での対立場面を想起させ、対立した時にどのようなことが大切なのかを考えてまとめさせる。	個別 一斉	○今日の学習で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○相手の状況や本心まで考えた上で、解決の方法を考えることの大切さをおさえる。	ワークシート 項目③

評価

ウィン・ウィン型解決法について理解し、身の回りで起こる対立場面を建設的に解決するための技能を養うことができたか。